

## 特別講話 「森林は私たちの大切なパートナー」

話をする人：東京緑化推進委員会緑化推進室室長 矢野 好彦  
司会者： 宮崎 浩平

講話に先立って、「東京の森林は、今」という30分のビデオが放映された。このビデオは、平成15年9月30日にテレビ放映されたもので、東京の山の現状を紹介している。

## 【内容の要点】

- ・緑化委員会の説明（委員長は華道の安達瞳子さん）
- ・東京都の森林面積は、都の総面積の約3分の1
- ・森は水源の涵養、CO<sub>2</sub>を吸収し酸素を作る、土砂災害を防止する、レクリエーションの場を提供する等で、大変重要な役割をする
- ・問題点と将来の展望・・・木材利用の衰退、需要の減退、人工林の管理不足で森の悪化、間伐をしてないので光を通さない、下草が生えない、表土は流される等々
- ・一般人が山作りに参加し始めている。その一例として、奥多摩のボランティアの会「山しごとの会」の紹介。中級者にはチェーンソーの指導
- ・緑の募金の紹介
- ・木材利用促進の例として、東京の木材を使用した木の家、シック対策の家、家具、ログハウス、小学校、道場、薬剤処理した木製ガードレール、車止め、端材から作ったペレットの紹介
- ・都民の森の紹介

次いで配布された資料を参照しながら話が進められた。

## 【要旨】

## ①森の効用について

都会人は理解不足（森は私たちの暮らしに深く関わっている）

- ・表土1cmは落葉100年間積もったもの
- ・雨を裸地の3倍以上浸透させる、おいしい水を作る
- ・河川への流出を平準化する
- ・森で作られたミネラルなどの養分を、川を介して海の生物を育成する
- ・土砂災害を防止する
- ・蒸発散作用で気温を低下させ「ヒートアイランド現象」を緩和する

## ②森が荒廃している

- ・奥多摩などで鹿の被害が増加している
- ・保水力がなくなり豪雨時に雨水が短時間で大量に下流域へ流れてしまう
- ・おいしい水が得られなくなる
- ・地球温暖化が進行する

## ③今、東京が取り組むべきこと

- ・森の荒廃は都民に影響を及ぼすが、森林所有者だけの問題ではないことを啓蒙する
- ・間伐を実施し混交林化していく
- ・森作りを担う産業を再建し発展させる
- ・森は、森林所有者の財産であると同時に、都民の共有財産であるので、森作り活動に参加する都民・企業を増やす
- ・森から得られる恩恵は都民全体が享受しているので、森作りの役割分担や参加手法を検討し、社会全体で森を守る仕組みを構築する。森林ボランティアは全国的に増えている。

## ④結論

木を育てるのに3世代かかる、時間とお金がかかる、山側の人だけではなく、都会全体が自覚を持って取り組むべきである。

最後に10分間の質疑応答があり、活発な意見交換があった。講演の結びとして講師は「今日は私の誕生日であり、生涯の中で記憶に残るイベントであった」とのお話があり、会場から感謝を込めた盛大な拍手で幕を閉じた。

平成16年2月26日

森林は私たちの大切なパートナー

東京緑化推進委員会

矢野好彦

1. はじめに

東京都の森林面積約78,000ヘクタール

東京都の総面積の36%を占めている

八王子市 約7,800ヘクタール東京都総面積の10%、八王子市の総面積の42%を占めている

森林は1200万都民の暮らしに重要な関わりを持っている

2. 森を元気に 東京を元気に（東京都森づくり推進プランより）

(1) 都民生活を支える森のはたらき

(2) 荒廃が進む「沈黙の森」

全国の森林の4割 スギ、ヒノキ等の人工林

スギ、ヒノキ昭和30年～40年代に植えられた31年～50年生が約60%を占めている

○間伐が必要な人工林の増加 植えてから概ね10年を超えると間伐が必要

木材価格の下落などにより林業の採算性が悪化し、間伐の経費が賄えなくなったことにより間伐が不十分の状態

○シカ被害地の増加

奥多摩町、青梅市など多摩川左岸

○裸山の増加

シカの食害、採算性の悪化等森林所有者が植林を断念 240ヘクタール

○里山林の消失、放置

薪炭林農用水として存在価値なくなり、宅地化等のため消失、

残された里山林も維持管理されなくなり、放置

(3) 木の循環が失われた大都市・東京

○ 低迷する東京の林業・木材産業

スギ等木材価格の下落により、林業採算性の低下

丸太の市場価格 スギ 平成3年 約26,000円/m<sup>3</sup>

平成13年 約12,000円/m<sup>3</sup> 54%下落

木材生産量の減少

昭和43年約145 千m<sup>3</sup> 平成3年29 千m<sup>3</sup>

平成13年18 千m<sup>3</sup>に減少

林業担い手の減少

林業就労者数 平成2年 267名 平成12年191名

平均年齢平成13年66才以上46% 全産業(全国)平均7% 高齢化が進行

木材産業担い手の減少

製材業など木材産業事業体 平成4年1,119 平成14年786に減少

○ 世界中の木を消費する日本

国内の自給率18%需要のほとんど海外からの輸入に依存

(4) 森の荒廃で都市はどうなる

- 水害や土砂災害などが増加する
- 安全でおいしい水が得られなくなる
- 地球温暖化が進行する

(5) 今、東京が取り組むべきこと

- 森の公益的機能の確保
- 森づくりを担う産業の再建と発展
- 社会全体で森を守るしくみづくり

(6) 森づくり推進プランの具体的取り組み

今後5年間の具体的な取り組み

○ 豊かな森を将来の都民に引き継ぐ

1. 都の取り組みとして森を再生・保全する

森林再生事業 都と地元市町村が協力し、森林所有者に替わって間伐を実施

シカ等被害地総合対策等

2. 林業の改革で資源循環の森を育成する

機械化等によるコスト削減、複層林をつくり、持続的に生産できる森づくり推進等

○ 「林業」から「森林産業」への発展を図る

3. とうきょうの木づかい運動で「木の循環」を復活する

東京の木の利用拡大等

4. 観光・健康・エネルギーなど森林資源を活用した新たな産業を創出する

木質バイオマス・エネルギー利用促進等

○ 森を守る人・技術・しくみをつくる

5. 森づくりを支える人を育てる

東京森隣パートナー募金による森づくり等

6. 森づくりと木使いの技術を開発・活用する

東京都森林情報システムの整備等

### 7. 森林管理制度を創設する

森林管理制度検討委員会を設置、新たな森林管理制度に向けた具体的課題を検討等

### 3. 緑の募金

昭和25年緑の羽根募金としてスタート

平成7年「緑の募金法」制定 (財)東京都農林水産振興財団が東京都の指定団体となる

東京緑化推進委員会は当財団の補助機関として募金事業を実施

募金の期間 春期3月1日～5月31日 秋期9月1日～10月31日

募金の使途 (1) 森林整備事業

(2) 緑化推進事業

(3) 緑化普及啓発事業

「森が支える暮らし 都市がはぐくむ緑 東京森隣生活」

(平成8年全国植樹祭テーマ 東京都で開催)

## 特別講話 「映像で語る人間賛歌」

話をする人:多摩アマチュア映像協会会長 西澤 幹夫  
司 会 者: 橋本 義和

正式なタイトルは題して「私達の八王子～オリンピックの記録」であり、八王子を主体に行われた第18回オリンピック東京大会「自転車競技大会」を活写された映像と語りであった。

本競技大会は1964年(昭和39年)10月16日～23日の8日間、現陵南公園に建設された仮設競技場を主会場として開催されたものである。当初は8mm16コマのフィルムで撮影された。画面はフィルムが大分痛んでおり見にくい箇所も数箇所にわたり、計算してみるとコダックフィルムを約100本使用して撮影され、約1時間10分の映像に仕上げた。

後にビデオ化し約50分のビデオに短縮、20本製作された。現在でも八王子図書館に8本ほど寄贈されており、貸し出しが行われている。(記録者確認)。

競技は1周400mの仮設競技場と国道20号線その他(現加住、川口、元八王子等)を使用して行われた1周4,354kmのスクラッチレースや、1,000mタイムトライアルをはじめとして個人、団体計5種目の競技が地球の裏側からの選手を含め世界一流の選手の参加により栄光をめざして行われた。

1,000mトライアルレースでは、日本期待の佐藤勝彦選手(市内追分町、都立二商出身)は残念ながら10位に終わった。

この競技の開催の為、当時の市民は町を良くしようとの気概が強く、カンナの花で道路の両側を埋め尽くし文字通り競技に花を添えた。

西澤氏のお話の中にはシナリオの作成、現場での撮影場所探しの苦労の様子、BGMに素晴らしいクラシック音楽の選曲がなされ、画面の迫りにマッチした効果を出した事や競技道建設にあたり土地の提供者が出たり、ビデオ化に当たりその短縮の苦労をした事など興味尽きないお話が続いた。

又、この競技開催のために八王子市と市民が一体となりオリンピック大会を遂行したとの事である。当時は高度成長期の真っ只中で行われたイベントであったが、市の財政事情は逼迫しており、国と東京都の補助金に頼らざるを得なかった。なお映像ではいちょう並木の甲州街道をスタート、沿道は鈴なりの市民で埋め尽くされ応援にも力が入っている情景が映し出されている。

ビデオの印象的な部分としては、聖火を手に雨中の日野、八王子を駆け抜ける40年前の若者達を当地育ちの人々には走馬灯の如く懐かしく思い出されると共に年月のあまりに早い移り変わりにある種の感慨を禁じ得なかった方々も多かったであろう。

また、八王子選手村(プレハブ造り)の開村式、10月8日のオリンピック前夜祭、当時の沿道の木造の商店街、現在の八王子祭りの原型をなす山車や神輿の賑やかな繰り出し、沿道を市民が埋め尽くした懐かしい光景等が上映された。

なお、オリンピック開催年の1964年(昭和39年)の冬季大会から始まった宇宙衛星を利用したテレビ放送は東京大会で更に前進し世界の主な国はもとより、日本国内でも爆発的な普及をみた。

また、運営、組織面で高く評価されたこの大会は、国民を文字通りテレビの前に釘づけにし、開会式の視聴率87.4%という数字はそのような興奮ぶりを今に伝えている。(一部記録者注)。

西澤氏は体調不良をおして講話をされた関係で特別講話時間が短縮され、その替わり、同氏撮影の最新の旅行映画“三都物語”を特別に映写した。ベネツア(イタリア～ゴンドラ、カンツオーネ、サンマルコ広場、寺院の鐘)、アムステルダム(オランダ～北のベネツア、世界初の株式会社である東インド会社発祥の地)、ブルージュ(ベルギー～ベルギー第一の観光地)の三つの都を取り上げ、ご自身で語りを入れながら(ご自身の声)、この美しい夢のような外国の観光地へ我々を誘って下さったのである。

(記録 北川 博孝)

## 続・美術あれこれ裏話

話をする人：岩岡 茂之  
司会者：阿部 幸子

話をする人：学生時代は慶應義塾大学の野球部マネージャー。その後、東急百貨店の美術部門を長く経験した。現在はハワイアンバンド、“アナカラ・ハワイアンズ”を結成して演奏活動を行っている。

第6回サロンより引続いてのため、話題の中で若干重複する点はあったが、美術品に関する基礎知識、見本品による説明を中心に、質疑応答をまじえ、系統立てず雑談形式で、次の通り行われた。

## 話の内容

## [使用された現品見本]

- |             |         |    |                    |
|-------------|---------|----|--------------------|
| (1) 島岡 達三   | 白釉象嵌角皿  | 共箱 | (益子焼)              |
| (2) 十代三輪 休雪 | 萩焼 酒呑   | 〃  |                    |
| (3) 矢部 篤郎   | 備前 酒呑   | 〃  | (山本陶秀子息)           |
| (4) 辻 清明    | ぐい呑     | 〃  | (多摩)               |
| (5) 加藤 舜陶   | 粉引彫分ぐい呑 | 〃  | (瀬戸)               |
| (6) 奥村 土牛   | リトグラフ   |    | 富士(芦ノ湖より観たる)       |
| (7) 池田 遥邨   | リトグラフ   |    | (A) 花の石段           |
|             | 〃       |    | (B) 芒原             |
| (8) 児玉 幸雄   | リトグラフ   |    | 私の巴里 PART—II (4部作) |
|             |         |    | (春) アリーグルの朝市       |
|             |         |    | (夏) カトルス・ジュイエ(巴里祭) |
|             |         |    | (秋) ブローニュの池畔       |
|             |         |    | (冬) 雪のボージュ広場。      |

- ・「良い仕事をしている」とは専門用語で、「念」が入っているか、いないかとの事で価値判断の基準となる点について
- ・芸術院会員、人間国宝(無形文化財)、文化勲章、夫々への経路について
- ・特例としての益子焼島岡達三の作風について(見本1 図録回覧)
- ・象嵌と螺鈿の相違点(島岡作品に関連して)
- ・日常生活用具の殆どが、茶道具の影響、伝来を得ている点について

## [茶碗、皿等の変遷について]

- ・陶磁器関連について
  - (イ) 小型試作茶碗よりの起源とされる酒呑(見本2、3回覧)とぐい呑(見本4、5回覧)の相違点と杯(盃)の変遷について
  - (ロ) やき物の分類と、陶器と磁器の中間点の性質をもった「炆器(せっき)」の特徴について
- ・縁起(ジンクス) 関連について
  - (イ) 宝船置物の設置方位について(御朱印船よりの伝来と云われ、船首が必ず南を向かねばならぬ伝統について)
  - (ロ) 松竹梅、四君子、五君子の国際的認知度について
  - (ハ) 牡丹の絵は別称「富貴」とよばれ、一家繁栄のシンボルとされている伝来について
  - (ニ) 垣根、鶴、網目、青海波等、光悦好みの図柄について
  - (ホ) 日本画家根上富治(ねがみ とみはる)が別称値揚富次(ねあがり とみじ)として蕪を立てた図柄が「株が立つ」と兜町で大変人気があった事について
  - (ヘ) 高貴な塗物とされた「根来塗」の本来の作風と、最大のコレクターであった黒澤明の挿話について

## [絵画関連について]

- ・八王子出身、城所祥(版画家)の作風、特に木口版画について(案内状、回覧)
- ・人物画鑑賞時の「八方睨み」について(荻太郎、中山忠彦のハガキ回覧)

- ・奥村土牛の版面制作時のこだわりについて（見本6使用）
- ・池田遥邨の特異な構図による作風とこだわりについて（見本7使用、図録回覧）
- ・児玉幸雄の色使いの濃淡と12ヶ月の図柄について（見本8回覧）
- ・杉山寧の風景画制作時の構図のこだわりについて（絵はがき12枚回覧）
- ・肉眼とカメラレンズの能力の差による相違点について
- ・中川一政の特技、久保田万太郎主宰による「いとう句会」の挿話について
- ・作家訪問時の心得と、それに伴う気配りについて

（記録 岩岡 茂之）

平成16年を占う—音訓占い

話をする人：大野 聖二  
司 会 者：下山 邦夫

話しをする人：30年も前から運命学として気学を学び、音訓による姓名学を独自に研究開発をする。昨年プロ野球の阪神タイガースとダイエーホークスの優勝を予想するなど色々な分野に涉り音訓姓名学をもとに占いを実践している。

話し手が何故、気学を学んだかについて説明があり、本題に入った。

話の内容

「音訓姓名学について」

1. 音訓学の原理と陰陽五行について

- ・気学は陰陽五行の原理から始まり、気学の基本が陰陽五行である。
- ・陰陽五行とは、陰陽の二元的要素（世の中のを二つに分けると、人間では男と女、昼と夜、天と地といった類）に五行という木、火、土、金、水、という五つの要素で成り立っていて、陰陽と五行をもとに色々なことを判断するのが東洋の哲学。
- ・陰陽五行説に基づく音訓等は人の運命や生活に結びつく大事な要素。
- ・特にこの音訓学は、名前、名刺だけでその方に適切な対応の仕方が判る為、生き方を探るうえにも、社会的な様々なチャンスを生かす為にも一番判りやすく簡便な方法。

2. まずあなたの名前からタイプを知ろう

- ・姓名判断はそれぞれの字がどういう性格を持っているかが基本。
- ・中国で成立した姓名学は、陰陽五行、語意、その下の要素として画数。
- ・日本では、漢字を導入したが中国の言葉と違った日本独自の読み方がありその為姓名判断が狂ってしまうので、画数中心の判断方法が主流。
- ・画数も一つの判断。基本になるのは五行の配列がどのようになっているかが重要。
- ・これに加えて名前の一番最初に発する音が一番重要。

[音訓姓名学のタイプ分類表]

例えばカ行で生まれればKタイプ、タ行であればTタイプ、名と姓でK・Tタイプとなる。名のタイプは主として性格と本運命を表し、姓から得たタイプは社会的な動きを表す。

タイプ	行	仮 名	五 行	雅楽の音階
K	カ行	か、き、く、け、こ、	木	ソ
T	タ行 ナ行 ラ行	タ、チ、ツ、テ、ト、 ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ、 ラ、リ、ル、レ、ロ、	火	ラ
A	ア行 ヤ行 ワ行	ア、イ、ウ、エ、オ、 ヤ、イ、ユ、エ、ヨ、 ワ、ヰ、ウ、エ、ヲ	土	レ
S	サ行	サ、シ、ス、セ、ソ、	金	ミ
H	ハ行 マ行	ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、 マ、ミ、ム、メ、モ、	水	シ

音訓姓名タイプ分類表

3. 象意表

- ・気学の原理に基づき五行に分類、陰陽のあるものはそれも考慮してそれぞれのタイプの基本的な動きの要素を配列。
- ・象意は、実用性に配慮し基本的なものを簡略に羅列。
- ・人体についてはそれぞれのタイプの人の特に注意すべき器官を表す。この部位がその人の特徴となっている反面その器官の病気には特に注意。
- ・基本的にはK, T, A, S, H, の5タイプで判断すべき。  
例えばKタイプは次のような意味を持っている。



タイプ	音訓	人体	象意	性格と傾向
K	カ行	肝臓 咽喉 左脇腹 神経 足 脛	春、青、若者、音、進む、現れる、新芽、信念、茶、進歩的、音声、マスコミ、樹木、電波、震う、伝達、電気製品、柑橘類、楽器、音楽、広報、電話、野菜、流行、酸っぱい、	新しいものに興味を持つ、正直で邪気がなく、進歩的で派手好み、おしゃれ、言い出したら引かない。若くして成功し名声を得易い。音楽や芸術面の才能がある、芸能、思想面や宗教等の指導的立場につく。人気を博する要素が多い。

\*紙面の都合で、T, A, S, Hタイプは省略。

#### 4. 元号によって日本の運命が左右

- ・「昭和」はSタイプー戦争、産業の発達、経済発展、豊かな時代。  
初期は財政政策のつまずきから経済も悲惨な状態だったが、後半は富国強兵策で二度の戦争をし、日本が長大化したそういう年号。
- ・「平成」はHタイプー水を象意とし、冷えるタイプ、経済も低迷、悩み、癒し、貧困、寒冷、食料、メール、生殖等が表れる。  
産業の特徴は、「昭和」が重厚長大産業の発達したのに対し、「平成」は、小さなもの、身近に置いてすぐ使えるもの、食料など軽薄短小なものが売れる時代。従って癒し系の産業が発達しナノテクの成長、携帯電話の普及、携帯電話でもメールが多用されるなどまさに年号通りHタイプの産業が発展。20年頃まで貧しいが20年を過ぎると産業も発展。さらに干支が絡み一昨年は壬午で、五行でいう水と火の組合せ。水は食糧を表し、火は水を消す要素を持ち、相克している。この年の天皇陛下のご病気もこれが原因。  
又食糧問題でも狂牛病、ヘルペックス等数多く発生。これも壬の年。
- ・「明治」も「平成」と同じHタイプ。

#### 5. 平成16年とはどのような年か

- ・今年甲申の年で五黄土星が中宮にいる。甲は新しいものが芽生え育つ意味もあり、経済等も新しい展望が開かれる一方震の意味もあり震災か何かの災害の危険もある。
- ・関東大震災も五黄の年、しかも9月1日は五黄の月。又阪神淡路大震災がちょうど乙の年。  
今年震災対策を十分にすべき年。
- ・北朝鮮と日本はどうなるか  
小泉首相はS・Kタイプ、金正日総書記もS・Kタイプ。二人とも演劇や芸術が趣味なのはKタイプだから。Sはリーダーシップを表す。ただ姓のKタイプは想いと現実の一致しないことが多々あるタイプ。小泉首相の場合周りがなかなか首相のいうようにはさせないのがKタイプの宿命。金正日はもっと演技派でKタイプだから心にない強がりの姿勢が時々露呈する。しかも体面を保持することにこだわるので花道をどう開けるかが今後の課題で六カ国協議が必要。
- ・政局はどうなるか  
本来、平成の年号に適合するのは、Hタイプの民主党、しかし残念ながら音訓学上で適当な人が見当たらない。Sタイプのリーダーが現れるともう少し強くなる。自民党の中では福田康夫がA(S)、Hタイプ。ただ言動からみるとS<sup>2</sup>タイプ。このタイプは少し陰湿なところがある。安部晋三はS A(H)タイプで非常に良いタイプ、将来強力な推進役になるのではないか。

#### 6. 楽しい応用法

##### (1) プロ野球の展望

- ・阪神は、星野監督がいれば今年も優勝ほぼ確実。  
星野は、S・Hタイプ、Sは勝負が強い意、Hは人の心をよく読めるの意、もう一つは相手の出方を予想出来たということで監督として素晴らしい才能を持った人
- ・巨人の歴代優勝監督で一番多いのは、三原、水原、二人共S・Hタイプ。藤本はH・Hタイプ。長嶋監督の優勝回数が少ないのはS・Tタイプだから。このタイプは瞬発力はあるが持続力がなく選手起用もちぐはぐな面があった。オリンピックでも選手起用が心配。  
堀内監督は、原前監督と同じT・Hタイプ、今年優勝の可能性あり。唯、何年も続けるのは難しい。
- ・今年王ダイエーが非常に有利。王監督はS・Aタイプ、このタイプは泥臭いが勝負強いという意味をもっている。

チーム名からみると阪神はH・Tタイプで対抗型、だから巨人の対抗チームとして人気がある。中日ドラゴンズのT・Tタイプはあくまで対抗だけで終わってしまうチーム。ジャイアンツのA(H)・Sタイプは勝負事に強いタイプ。

## (2) 演劇の世界

- ・芸名を持っている場合、舞台上のことは芸名で判断。歌舞伎の芸名は何代にもわたり襲名されるので良い名前が長い間継続され、カ行の発音から始まるKタイプの役者が多い。菊五郎、吉右衛門、勘三郎、勘九郎、幸四郎、雁治郎等。映画でも長谷川一夫、高田浩吉、上原謙、佐田啓二、高倉健、里見浩太郎、渥美清、緒形拳等、Kタイプで成功している人が多い。歌手では、H・Hタイプが多く美空ひばり、村田英雄、三波春夫、都はるみ、松任谷由美、森昌子等もこのタイプ。
- ・原節子という未婚の女優がいたが、何故かSタイプの人は美人なのに晩婚か未婚の人が多い。

## 7. ネーミングが企画を決める。

### (1) 自動車産業

トヨタの成長の秘密を音訓姓名等からみると明快に解明出来る。昭和34年頃クラウンを発売、これが良く売れた。Cのイニシャルを使ったが、自動車は音訓的には、Kタイプに属する。Kタイプでカ行の名前をつけたのは自動車として適切なネーミングだった。

日産はブルーバードを発売、数年間に亘りベストセラーカーを続けた。

トヨタはこれに対抗するマークIIを発売。ブルーバードを大きく抜き日産に差をつけた。さらに大衆車としてパブリカを発売、このネーミングは幅広く販売すると言う意味で最善の選択であった。さらに中間車種としてKタイプのカローラを発売、大成功を収めた。一方日産はこれに対抗してサニー発売したがこれが大きなミス。大衆車として計画したのでKかHのタイプの名前をつけるべきだったのにSタイプの命名は完全にミスマッチであった。

次に上級車種として、トヨタはセンチュリー、日産はプレジデントを発売、上級車種にはSタイプの命名が妥当で、トヨタはSタイプなのに日産は量販向けのHタイプの名を付けたが、その後シーマを発売、これがSタイプだったので成功する。

このように、今後は名前と産業の関連性が非常に重要になってくると思われる。

### (2) ファッションと化粧品

我国の化粧品メーカーはカ行が多い。コーセイ、カネボー、花王とか。化粧品はカ行の性格を持つ。カ行の性格は若さと清潔さを表す。

資生堂はどちらかという少し高級路線のSタイプ。

この頃はタ行の名前を付けるのが増えている。これは個性、固有のファッションで人との違いを出したい人が増えていると思われる。

ファッションでもルイ・ヴィトンが大人気。このブランド名はTタイプで本来は高級品でマニア向けの商品だが、若者はヴィトンと呼んでいる。これはHタイプの発音、従って誰でも持つようになった。

この様に呼び方や発音の仕方でファッションも大きく変わってくる。

### (3) 大型物販店

イトーヨーカ堂の成功の秘密は、その商号にあり発音がAタイプで、Aタイプは多少泥臭いが普及型。それで当初はダイエーと一緒に安売り競争をしていたが最近では比較的良い物を手掛けダイエーを追い越したと言える。

デパートでは、三越、松坂屋、松屋というように大衆向けに人気を大事にしたHタイプの名前が多かった。しかし西武、そごうとかSタイプの店が一時大きく発展した。Sタイプの一番の問題点は経営者で、両社の経営者が力を持ちすぎたことが後退した大きな理由と思われる。しかし両社もトップも変わり、名前もよいので徐々に立ち直ってきている。

いずれにしても多様化され選択する時代になるとますますネーミングによる影響がその企業の未来を左右する。また何気なく付けた名称がその人の性格だけでなく、人生まで、或いはその会社の将来、商品や製品の売れ先から売れ行きまで様々な影響を与えることがある程度お判り頂けたのではないかと思う。

休憩時間を利用して参加者から姓名判断の基になるデータを記入してもらい判断を求める方の指導や、即席での姓名判断も行われ、いつの間にか参加者も音訓姓名学による占いの世界に導かれ質問も数多くあり予定された時間を忘れて楽しい時間を過ごした。

## 幕末を戦った多摩人

話をする人：野口 正久  
司会者：鶴田 金通

話しをする人：地方史研究家、八王子千人同心旧交會會長、元・八王子市郷土資料館運営協議會會長、八王子文化財審議委員、八王子市元八王子中、二中、七中の各校長歴任、元・八王子中学校校長會會長、平成12年叙勲（勲5等旭日賞）、永年郷土史を中心に研究する歴史家

講演に先立ち自己紹介のあと、配布された詳細なレジメ、資料に基づき以下の如き要旨の講演が行われた。

### 話の内容

#### 1. 幕末多摩を舞台に生まれた集団

##### ①八王子千人同心 ②新選組 ③農兵隊

この三つの集団は、各々発生の経緯・組織・所属は異なったが、その構成員、役割、心情等には、共通点が多く幕末危機の時代に、歴史の舞台で活躍した集団であった。

#### 2. 三つの集団の共通点

構成員は、多摩の農民として生活拠点を持ち、地縁・血縁関係で結ばれ村の指導者及びその子弟が多かった。

天領支配地に住し、徳川家に恩義を感じていた。

危機の幕末に、近代兵制即ち刀・槍の個人戦から西洋筒をもつ集団戦法を身につけていた。

多くの構成員は「天然理心流」を学び習得していた。

#### 3. 三集団の概要

##### ①八王子千人同心

もと武田家臣を中心に発生し、天正10年（1541）3月武田氏滅亡後、徳川家に抱えられ、天正18年（1549）北条氏滅亡後、徳川家康が関東支配することになり、八王子城下に移住を命ぜられ、2回の人員増強があり、同心1000人となる。

拝領屋敷を賜り、多摩の北条浪人、上層農民を2回にわたり召出し、同心を1000人とした。故に組織を「八王子千人同心」と称し、拝領屋敷所在地を千人町と呼ぶようになった。

はじめは老中・槍奉行支配であったが、幕末、講武所陸軍奉行支配となり近代軍団として西洋筒を持ち、集団戦法を学んだ。

##### ②新選組

文久2年（1862）清川八郎、山岡鉄太郎等の建議によって、当時世間に増大した浪人対策として「浪士隊」が結成された。将軍警護のため京都に上るや尊皇攘夷を巡る内紛より清川等は江戸へ引き揚げる。一方、後の新選組近藤等京都派は、京都守護職配下となる。

文久3年（1863）無謀な行為のあった芹沢鴨が斬られ、近藤勇・土方歳三が実権を握り、同年8月新選組となった。

##### ③農兵隊

文久元年（1861）多摩の代官江川太郎左衛門英敏は、村方の治安維持に力点をおき、農兵設置建議を強め、文久3年（1863）幕府も許可に踏み切った。

慶応2年（1866）武州一揆鎮圧に力を発揮した。名主の支配下に日野農兵隊（日野市）、小野路農兵隊（町田市）等各地に結成され、各藩にも組織された。

#### 4. 幕末の混乱・危機（内憂・外憂）とは

##### ①欧米列国の東南アジアへの進出

欧米列国（米・英・仏・蘭・露等）は、国内の近代産業が進み（蒸気動力の発明等）資源と消費地・労働力を求め世界各地に進出した。

東南アジアへは、人口、資源（綿・ゴム・生糸・鉱産物・香料等）を求めて進出し、植民地としていった。なかでも中国の「アヘン戦争」（1839～42）は、日本の支配者に大きな危機感を抱かせた。

##### ②日本列島に諸外国

・ロシアの南下（1800年代） 北方領土、北海道（蝦夷地）－幕府の調査、八王子千人同心の警備、伊能忠敬の測量

- ・モリソン号の来航—天保8年(1837)—外国船打払令  
蛮社の獄—打払令に対し、反対者処罰  
反対者
  - ・高野長英(町医者)—「夢物語」 獄罪
  - ・渡辺崋山(田原藩家老家)—「慎機論」 保釈
  - ・松本斗機蔵(八王子千人同心組頭)—「上書」(水戸徳川斉昭に)お咎めなし
- ・ペリー来航(アメリカ遣日特使) 嘉永6年(1853)6月3日軍艦4艘浦賀に日本中大騒ぎ  
「毛唐人などと茶にして蒸気船、たった4はいで眠れもせず」  
「ヤレ、ヤレ 此度アメリカ騒ぎが此処(八王子)に響いて朝の六つから、晩の六つ(午前6時～午後6時)まで、日がな一日、寄ればさわれでアメリカだ。寝ても起きてもうるさいことだよ」
- 結果 日米和親条約(嘉永7年(1854)3月3日)締結(ペリー)  
日米通商条約(安政5年(1858)6月19日)締結(ハリス)

▼  
開港 反対派—攘夷

▼  
幕府弾圧—安政大獄

▼  
桜田門外の変—万延元年(1860)大老井伊直弼を水戸浪士襲う

- ・朝廷、水戸藩徳川斉昭等反対 攘夷—尊王論
- ・外国貿易により庶民物価高に苦しむ—攘夷運動に共鳴
- ・水戸浪士脱藩して「天狗党」結成、支援者増える

## 5. 幕府の権威失墜

尊王攘夷論高まる 世情混乱

地域の三集団の活躍 幕府を支える

- ・八王子千人同心は第2次長州出兵 約1年3ヶ月出陣 京都、大阪、広島、小倉、に転戦したのを  
はじめ、横浜警備、甲州賊徒追討等に出陣
- ・新選組は池田屋事件、京都見廻で京都の治安に努め名声をあげた
- ・農兵隊は諸州—揆鎮圧に力をいれ、村々の平静に努めた

## 6. 各組織の終末と新しい世での活動

- ・八王子千人同心—幕府の命に恭順、慶応4年(1868)解体
- ・新選組—鳥羽伏見の戦いに敗戦—江戸に戻る—(甲陽鎮撫隊結成3/1)—勝沼の戦い(3/6)—江戸  
に戻る(3/8)—流山(近藤捕らわれ板橋にて処刑)—宇都宮—日光—会津(榎本武陽と合体)—  
北海道箱館(五稜郭開城 明治2年5/8 土方歳三明治2年5/11 戦死)
- ・農兵隊—慶応4年自然解体

<話のまとめ>

幕府を支えた一方、大変革の波に大きな失意をもった三集団の発生地である多摩の人々は、新たな決意で新時代にいどみ、自由民権に参加し、産業、文化の発展と地域作りに取り組んでいくのである。

(記録 米林 伸恭)

## カナダと自然

話をする人：矢崎 安弘  
司会者：吉田 信夫

話をする人：東京都蒲田生れ、少年時代を八王子で過ごし、終戦直後八王子を離れる。その後舞い戻り30年。カナダ大使館勤務。カナダの鉱物資源、木材、建材などの対日輸出促進、住宅工法の日本への導入及び普及に尽力。

### 話の内容

近年、観光、スキー、留学、ビジネス、或いは駐在といったさまざまな形でカナダに行かれた人は大変多くなっている。当初、カナダは若い人達にクリーンなイメージを与え、新婚旅行の目的地としてだんだん人気が出てきた時期もあった。今年2004年(平成16年)は、1929年(昭和4年)にカナダ大使館が東京に設置されてから75年と言う節目に当る。

### 1. 国家の成立

元々カナダには数千年にわたり先住民が住んでいたが、16世紀になるとフランスや英国の探検家が、アジアへの新しいルートを求めて、定住してカナダ東部に植民地を築いた。やがて英国とフランスは激しい抗争を繰り返したが、1759年にパリ条約で全植民地が英国のものとなった。1776年には、お隣の米国は独立を果たしたが、1867年まで英国の植民地であった。

1867年(慶応3年)は明治天皇即位などがあった年で、近藤勇や土方才蔵の新撰組が活躍していた年である。カナダの政治機構は立憲君主制で女王でもある英国女王が『君臨すれど統治せず』で、カナダに代理の総督を委任している。

### 2. 日加関係

始まったのは明治維新後間もなくで日加関係が2国間の貿易と、日本からのカナダへの移民、カナダからの宣教師、教師や医師の来日などに限られていた。カナダ政府は1904年(明治37年)に初めて浜に商務官事務所を置いた。明治37年から38年が日露戦争で、その2年前、1902年(明治35年)に日英同盟が結ばれたので、日露戦争が日本の勝利、東郷平八郎元帥が、初のカナダを訪問している。そして1923年(大正12年)の関東大震災後、横浜の商務官事務所を神戸に移している。

1928年(昭和3年)、カナダ政府は英国(ロンドン)、米国(ワシントン)・フランス(パリ)に次ぐ四番目に、オタワと東京の間に外交関係を樹立することを昭和天皇に信任状を提出し、翌年の1929年(昭和4年)9月、初代公使マーラー氏が、大使館の設置に取り掛かったが、世界大恐慌の真最中であり、カナダ政府は建設計画を承認しなかった。

公使は20万ドル以内で土地を購入し、自分の資金を立て替えて大使館と公使公邸を建てた。10年間で政府から返済してもらった公使は20万549ドル(42万5千円)という安い価格で、赤坂にある青山忠俊子爵の土地を購入し、大使館施設を建設した。土地が安く買ったのは、そこに幽霊が出るという噂があったからである。今でも当時の公使公邸は残っていて大使公邸として使われている。

1941年(昭和16年)には太平洋戦争が勃発し、両国関係は断絶し1945年(昭和20年)、終戦となり翌年の1946年(昭和21年)にカナダ代表部を批准し外交関係が復活した。以降友好関係が継続され現在に至っている。

### 3. 国土面積

カナダはロシア連邦に次いで世界で二番目に広い国で(総面積998万4千670km<sup>2</sup>)これは日本の国土面積の約27倍になります。更に北米大陸の5分の2、世界の陸地の7%を占めている。

カナダは国土面積の約50%が森林に覆われており、世界の森林の10%を占めている森林大国だが、同時に国土面積の7割がツンドラ地帯や山岳地帯の未開拓地である。原油、ガス、石炭、金、銀、亜鉛、銅、ウランなど、あらゆる鉱物資源が大量に埋蔵された資源大国でもある。

### 4. 人口

3,100万、日本の約4分の1。多民族で構成されており、第二次世界大戦以前は、カナダへの移住者の大半はヨーロッパ出身だったが、1945年(昭和20年)を境にアジア、南米、カリブ海諸国からの移住者がぐんとふえ、ますますモザイク模様が複雑になっている。現在、イギリス系、フランス系、先住民以外以外の人口は全人口の5分の2にのぼっている。

## 5. 地理

農業に適した肥沃な平野、広大な山岳地帯、多くの河川や湖、そして最北は北極ツンドラへと続く原生林がある。自然が豊かである。

### ・山脈

カナダにはいくつかの山脈が走っている。主だったものは、西にロッキー山脈、東にはアパラチア山脈、ローレンシア山脈などがある。カナダの最高峰の山はマウント・ローガンと言い、標高 5,959m で、北のユーコン準州にある。

### ・湖沼

カナダには国土面積の約 7.6%に当たる、およそ 200 万を数える湖がある。アメリカとの国境にある五大湖は有名だが、湖が米加両国にまたがっている。

### ・河川

セントローレンス川が最も重要な川で、五大湖から大西洋まで大型の外洋船が航行する水路となっている。いくつもの大河があるが西にあるフレーザー川は鮭の遡上で大変有名である。

## 6. 時間帯

カナダの東西の幅は太平洋から大西洋にいたる約 8,000 キロある。ちなみに北は米国領アラスカを除く北極まで、南は北緯 41 度 41 分のアメリカとの国境まで、これは日本の青森県むつ市付近に当たる。これだけ広いカナダは 6 つの時間帯に別れている。最東端のニューファンドランド標準時は、グリニッチ標準時より 3 時間半遅れ、西に向かって、大西洋標準時、東部標準時、中央標準時、ロッキー山脈（山岳）標準時、GMT より 8 時間遅れの太平洋標準時の 6 つである。人口の 77% は都市部に住んでいる。家族の規模は平均 3.1 人、子供は 1.2 人で大きな家に住んでいる。町並みを見ると、緑が大変豊かで、木や芝生が目につく。塀は圧倒的に生垣が多く、また通りに面して前庭を造り芝生を植えている。非常に気持ちよい景観となっている。

## 7. 州制度

カナダには 10 の州と 3 つの準州がある。バンクーバーのある、ブリティッシュ・コロンビア州とか、モントリオールのある、ケベック州とか、カナダの首都のオタワがある、オンタリオ州とかご存知だと思うが、準州はあまり馴染みが無いと思う。三つの準州とは、ノースウェスト準州、ユーコン準州、それに 1999 年(平成 11 年)4 月 1 日に、ノースウェスト準州を分割して誕生したヌナブト(Nunavut)準州である。最近オーロラ・ウォッチング・ツアーがブームを呼んでいるが、観測に適しているのが北緯 60 度から 70 度周辺といわれ、ノースウェスト準州は『オーロラ・ベルト』の真下にある。イエローナイフと言う町が北緯 62 度、フォート・スミスと言う町が北緯 60 度で、オーロラの観測で賑わっている。シーズンは 12 月から 4 月。この時期で、3 日滞在すれば、98% の確率でオーロラに出会えるそうだ。観測ツアーは、夕食後 9 時ごろから 12 時ごろまでで町の明かりを避けて車で 30 分ほどの所にあるオーロラ観察用のキャビンに行き暖炉の前で腰掛けてオーロラの出現を待つ。外はマイナス 40 度の世界だから肌を外気にさらさないようレンタルの防寒着、防寒靴を身に着ける。防寒用下着・スキーウェア程度は持参したほうが良いそうだ。写真を撮る場合は周回の準備が必要とされている。電池は勿論必需品。気温が大変低いので電池の消耗が激しく、シャッターがおりないこともあるので、マニュアル機能のあるカメラの方がいいかもしれない。また温度差があるのでレンズが結露してしまうため防寒カバーをかけて動かさないのが良い。フィルムは X 線透過防止の袋に入れる。

## 8. 気候

北緯 70 度以北の、永久に氷結したツンドラ地帯は別にして、国境沿いのベルト地帯では、春夏秋冬の四季がはっきりしている。夏の日中は 35 度を越えることもあり、他方、冬には氷点下 25 度それ以下になる。

## 9. 公園

カナダには国土面積の約 2% に当たる、39 の国立公園がある。日本でも良く知られている公園は、アルバータ州のロッキー山脈の東側山麓にある、バンフ国立公園で、1000 を超える州立公園や約 50 の準州立公園がある。

## 10. 環境保護と保全

1971 年(昭和 46 年)、カナダは世界で二番目に環境省を設置し大気、水、土壌、野生生物、自然を保護し、また地球温暖化問題に取り組んでいる。国内では保護地域の数、規模、種類ともに増えており、1950 年(昭和 25 年)に国土の 2% だった保護地域は約 9% になり、その数は約 3 千箇所となっている。カナダはまた、危機に瀕した種の保護に熱心に取り組んでおり、10 年間に絶滅した種は皆無である。カナダは絶滅の危機に瀕している哺乳類の割合が最も低い国のひとつだが、環境省は 400 種を超える渡り鳥と、1,100 万ヘクタール以上の生息地を保護している。この関連で『カナダ・ギース』が有名である。また、化学物質の大気中への放出制限、危険廃棄物の管理、酸性雨の低減、オゾン層破壊防

止、地球温暖化防止など、国際的な取り組みにも積極的な役割を果たしている。

カナダの最東端の州、ノバスコシア州がゴミを5年間で半減させた。1977年にオランダでゴミ焼却からダイオキシンが発生することが判明して以来、先進諸国はゴミを出さずに経済社会を構築するか、ゴミを焼かずどう処理するか研究している。

ノバスコシア州では脱焼却、脱埋め立てを目指し生ゴミは堆肥化する、飲料容器やタイヤなどは拠点回収して資源化する、粗大ゴミは全て修理して再利用するようにし、焼却炉はなくなり、埋立地も激減した。

### 1.1. カナダの森林

森林は大自然の中で重要な地位を占めている。森は伐採する、植林・育林する、又伐採・植林・育林を繰り返し半永久的に'木材'と言う資源を供給することが出来る。人間の呼吸や自動車の排気ガスによる二酸化炭素を吸収し、地球温暖化防止に貢献している。

ヨーロッパからの移民が始まった500年以上前の森林面積と比べて現在でもカナダにはその90%が残っている。消滅した10%の大半は、農業用地や市街地の開発によるもので、カナダの森林の94%が官有林であるということである。そのうち71%を州政府が、23%を連邦政府と準州政府が管理しており、残る6%が民有林である。官有林は41%、民有林は58%で森林の構成は、67%が針葉樹、51%が広葉樹、18%が混交林である。

この森林には多彩な生態系が存在し、推定14万種の動植物と微生物が生命を営んでいる。各州政府は個々に森林を所有しそれぞれの森林政策で基本は連邦政府が作成したガイドラインに準じている。

伐採に当たっては許可制で伐採したら植林を義務付けている。カナダの森林は4億1,760万ヘクタールあり、木材製品やそれ以外のさまざまな価値を生み出す『商業林』は、2億3,500万ヘクタール(56%)で、木材の生産だけでなく、土壌・水質の保全、動植物の生育、アウトドアなどのレクリエーション、美しい景色、など様々な恩恵を与えてくれ自然と環境をしっかり守りながら、木材及び紙・パルプを、日本を含む世界各国に輸出している。

(記録 塩沢 迪夫)

## 童謡・唱歌の世界

話をする人：五十嵐 淳  
司会者：立川 富美代

話をする人：八王子市内小学校・音楽教師。八王子フィルハーモニー合唱団や男声、女声合唱団など各方面で合唱指導。  
伴奏は八王子フィルハーモニー合唱団専属のピアニスト・畑野かん奈。

## 話の内容

「私達が子供のころから親しんでいる美しい旋律の童謡や唱歌には、それぞれ成立した状況や、童話に興味を引くものがある。大きな声で、良くご存知の歌を歌いながら、歌うだけでない楽しい歌の世界を楽しみませんか」と。

先生から配られた歌集には、31の歌があったが、それぞれの歌や作曲家にまつわるエピソードを巧みな話術で話してくれた。

例えば、1曲目の歌「見わたせば」は、1番柴田清熙、2番稲垣千穎の作詞で、原曲はルソーの作曲、現在でも「むすんでひらいて・・・」のメロディで唄われている。

2曲目の歌「才女」は作詞不詳だが、紫式部がテーマで、原曲はスコットの作曲した「アーニーローリー」のメロディで唄う。

5曲目の歌「庭の千草」は、はじめは「菊」の表題。作詞は里見義、原曲はアイルランド民謡「夏の最後のバラ」で、原曲の歌詞はムーアが作詞。

15曲目の歌「ふるさと」作詞、高野辰之、作曲、岡野貞一はベートーベンの月光の曲が元になっている。

等々。また作曲家の本居長世、山田耕作などの先生の逸話もあった。

ヴァイオリン独奏、ピアノとの重奏もあり、サロン・コンサートの趣もあった。

そして、講演の最後のほうになって、会場の末席にいたプロバス会員に突如歌を歌うよう名指しされ、数名の俄か合唱団（私の他に大高、長町、大山、下山、土井、塩沢、廣瀬、阿部、浅川）は歌集の中の「箱根八里」作詞、鳥居枕、作曲、滝廉太郎を力一杯唄った。

講演は大変和やかな雰囲気の中、拍手をもって終了した。

## 歌集曲目

- 1 見わたせば 2 才女 3 二宮金次郎 4 まことは人の道
- 5 庭の千草 6 故郷の空 7 我は海の子 8 夏は来ぬ
- 9 蛍の光 10 箱根八里 11 鎌倉 12 花
- 13 春の小川 14 春が来た 15 ふるさと 16 朧月夜
- 17 紅葉 18 冬景色 19 かなりや 20 赤い靴
- 21 青い目の人形 22 七つの子 23 しゃぼん玉 24 夕焼け小焼け
- 25 赤とんぼ 26 この道 27 からたちの花 28 待ちぼうけ
- 29 砂山 30 うれしいひなまつり 31 たき火

(記録 矢崎 安弘)



## 「痴呆」－その理解と対応

話をする人：石田 雅巳  
司 会 者：松尾 信一郎

話をする人：医師、日本医科大学卒業、八王子保健所長 5 年間勤務後、介護老人保健施設ハートランド施設長。

### 話の内容

#### 1. 私の勤務する施設

100 名の高齢者を受け入れ、平均年齢 63 歳～64 歳、男 1 対女 3.5 ないし 4 の割合で、そのうち 6～7 割が痴呆。日本では平成 15 年に痴呆の割合は 7.2%であったが、平成 40 年には 10.3%と予想されている。

はじめにクイズ。○か×か。

- イ、物忘れは痴呆の始まりである                   ×（物忘れと痴呆は違う）  
ロ、予防できる痴呆はない                           ×（脳血管性痴呆は予防できる）  
ハ、痴呆の進行を遅らせる手立てはない           ×（新薬が続々できている）  
ニ、痴呆の早期発見にメリットはある           ○（おおいにある）

#### 2. 高齢者の心の特徴

種々の喪失感を多かれ少なかれ持っている。衰えは心より体のほうに、より早く、より強く現れる。

- ①健康の衰えに対する不安
- ②やがて介護してもらおうようになるのではないかという不安
- ③パートナー、家族、知り合いとの別離による寂しさ
- ④生きがいを見失う（年取っても女は生活がある。男はやることがない）
- ⑤経済的不安
- ⑥死に対する恐怖、残された時間への不安
- ⑦孤独感、孤立感
- ⑧心身の適応力の低下（柔軟性の欠如）年取ると「小さく」「固く」「乾燥」。

#### 3. ひょっとして自分は「ぼけたんじゃないかな！と思っていないですか

	痴 呆	健 康
1	体験の全体を忘れる	体験の一部を忘れる
2	物の名前だけでなく、物事自体を忘れる	物事自体はそれほど忘れない
3	物忘れの自覚に乏しい	物忘れを自覚している
4	見当識の消失（今何時？ここはどこ？あの人は誰？）	失見当はない
5	日常生活に大きな支障を来たすことが在る	日常生活に大きな支障を来たすことはない
6	進行が早い	極めて緩やかに進行
7	作り話がある	作り話はない
8	学習能力に障害	学習能力は保持

#### 4. ちょっとおかしい？

- ・同じことを何度も言ったり、聞いたりする
- ・慣れた場所でも道に迷う
- ・物の名前が出てこない
- ・「あれ」「これ」「それ」が多くなる
- ・おつりを間違える
- ・薬の飲み方が分からなくなる
- ・「食事はまだ」を繰り返す
- ・日常生活がだらしなくなる
- ・料理の手順がわからない、味付けが変わる
- ・財布や物が盗まれたという（毎日何かを探している）
- ・腕時計の時刻が合っていない（時間に無関心）
- ・ちょっとしたことでもすぐ怒る

## 5. 痴呆性高齢者に対するケアの原則

- ①受容的・支持的に関わることが第一。注意しても、なぜ注意されたか判らず屈辱感だけが残る。  
受容とは問題行動そのものを受容することではなく、問題を起さざるを得ないお年寄りの気持ちを暖かく受け入れること。理屈で対応しない。訴えに何度でも付き合ったり、徘徊に同行したりする。
- ②忍耐強く柔軟な態度で接する。深刻になりすぎず、どんなときもユーモアを忘れない。
- ③お年寄りを尊重し、絶対にプライドを傷つけない。
- ④情報は簡単に、分かりやすく伝える。
- ⑤近くで話す。
- ⑥理解しやすい言葉遣いで、お年寄りのペースに合わせて、ゆっくり話す。眼差し、肩を抱く、手を握るなどのスキンシップを欠かさない。
- ⑦生きがいとなるような活動、役割、仕事を持ってもらい、生活の活性化と存在意識を高める。  
孤独にせず、積極的に働きかける。
- ⑧よい刺激を少しずつでもよいから与え続ける。
- ⑨お年寄りのよい点（残存能力）を認めて、褒めてあげる。
- ⑩一人で仕事を抱え込まないで、社会資源を利用する。

## 6. 応用問題

- ・冬に夏物衣料を着ないように（着衣失行）、冬物衣料だけを出しておく。
- ・「金がなくなった」といわれたとき、「あら、ちょっと借りたのよ」と答える。
- ・精神医のところへ連れてゆくとき、「健康診断に行きましょうね」という。

（記録 藤野 豊）

## お金と私たちの暮らし

話をする人：佐々木 研吾  
司 会 者：山崎 修司

話をする人：秋田市出身。元日本銀行職員。本店のほか、秋田、札幌、小樽、金沢、盛岡に勤務、主として企画・調査部門や内部管理関係に従事。趣味は、地図を携えて山野や街を歩き回る自称「地理研究」。

### 1. お金のはたらき（通貨の機能）

一般に、通貨の機能として、交換、価値の保蔵・尺度の3機能が挙げられる。交換機能とは、必要な財貨、サービスと何時でもリアルタイムで交換できる機能をいう。永い人類の歴史において、原始的な物々交換の経済の中から交換の仲介をする専用の物品（運搬、保存に適した石貨、貝など）が誕生し、物品貨幣となった。その後、経済・文化の進展に伴い、金属貨幣、鑄造貨幣、兌換券制度などの発達過程を経て、今日の管理通貨制度（銀行券、補助貨）にいたった。

私たちの日常生活の中で、物の価値は時間の経過とともに減価するが、お金で持っていれば、名目価値が変わることはない。すなわち、お金は価値の保蔵機能を有しているのである。また、私たちは、物やサービスの価値をお金の単位に引き直して計っている。これを、価値の尺度機能という。

今日、わが国で現金通貨として流通しているのは、日本銀行券（以下、銀行券という）と補助貨である。

銀行券は、日本銀行法によって法貨として無制限の強制通用力が与えられ、通貨の中心的な機能を果たしている。すなわち、銀行券は、公私一切の経済取引の決済に無制限に使用され（汎用性、一般受容性）、何人も銀行券による支払を拒むことができない（強制通用力）。銀行券による支払は、当事者間の最終的な決済完了となり（支払完了性）、また誰が、いつ、どこで、どんな目的で使用したか、事後にはわからない（匿名性）という性質も重要な特徴である。

一方、補助貨は、小額の支払を補助する役割が与えられており、こうした趣旨から、その強制通用力は、1回の支払につき各種類20枚までに制限されている（ただし、税金等公納の場合は無制限、通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律）。

### 2. 通貨の発行・流通・管理

平成15年末（年間のピーク）における銀行券の発行高（流通高）は、約76.9兆円に達した。日本人は、現金に対する選好が強く、銀行券流通高の国内総生産（GDP）に対する比率は11%と先進諸国（ドイツ6%、アメリカ5%）の中でかなり高い。これは、①慶弔金、餞別、お年玉など固有の習慣がある、②金融機関店舗やATMが多く、便利に入手できる、③偽造券が少なく、汚損度も低い、④治安が比較的よい、などによるものといわれている。

銀行券は、独立行政法人・印刷局において独占的に製造され、それを日銀が引き取っている。その段階では単なる印刷物であるが、現金の需要が生じたとき、日銀と取引のある金融機関および政府が、それぞれの当座預金を引き出して銀行券を受け取ることとなる。その瞬間から銀行券は通貨となり（発行）、あまねく全国に（一部は海外にも）流通していく。

市中に流通した銀行券は、いずれ金融機関を通じて日銀に返る（還収）。日銀は、返ってきた銀行券について、真偽の鑑定、枚数の計査を行ない、再び流通させるものと汚損がひどいため廃棄するものとに分別する。銀行券の寿命は、壱万円券が3~4年、五千円券・千円券が1~2年程度である。

銀行券が破損・焼損した場合は、表裏両面を識別でき、3分の2以上の面積があれば全額に、3分の2未満でも5分の2以上あれば半額に引き換えられる（5分の2未満は失効）。

わが国の銀行券の品質は、先進国の中でもトップレベルにあり、偽造券も格段に少ない。素材には、みつまた、マニラ麻に複数の原料を混入した破れにくいものを使用し、凹版印刷による独特の手触りや複写できない精巧なすかしを施しているほか、超細密画線によるシャープな図柄、特殊なマイクロ文字、発光インクによる印刷など、高度の技術を駆使している。このほか、10~15年ごとに実施する改刷も有力な偽造防止手段である。今秋には、二千円券を除く三券種の改刷が予定されており、五千円券の人像に樋口一葉（初の女性像、政府紙幣では明治時代に神功皇后の先例がある）、千円券に野口英世が登場する。人像は銀行券の顔であり、偽造防止の意図も含めて国民によく知られた人物の気品ある肖像が選ばれる。明治以来、17人の肖像が登場しているが、聖徳太子が7回と最も多い。

### 3. 最近10余年の経済環境の激変

周知のように、最近の10余年間、私たちを巡る経済・金融環境は、未曾有の激しい変動に見舞わ

れている。今なおその渦中であって、今後の帰趨も見定め難いが、①東西冷戦の終息、②「プラザ合意」を契機とする国際的な金融自由化の趨勢、③情報通信革命の進展、などを背景とする経済構造変化への大きなうねりとみることができよう。

この間、わが国では、巨額の設備投資や不動産投資の横行によって景気が過熱し、その後これらの反動から、不動産価格の急落、不良債権の大幅増加を招き（バブルの生成と崩壊）、こうした激動が経済全般とくに金融界に大きな波紋をもたらした。

こうした情勢のもと、金融行政は、預金金利の完全自由化（平成6年10月）をはじめ諸規制の撤廃・緩和を進めるとともに、預金保険制度の発動、消費者保護関係法の整備を図るなど、従前の「護送船団」方式から自由化路線に大きく転換した。一方、金融業界においては、さまざまな取扱商品・サービスの開発をより積極的に進めるほか、業態・系列を超えた商品の取扱いや、業態・系列に関わりなく合併・統合、グループ結成を図るなど、生き残りをかけて懸命の努力を続けている。

この結果、私たちが金融機関・商品を利用するにあたり、——①便利になった、②面白くなってきた、③しかし油断はできない（金融機関は、旨味の多い顧客は優遇する一方、旨味の乏しい顧客は敬遠する 姿勢。また、「銀行はつぶれない」という神話も崩壊）、④したがって、「自己責任」がますます大切——という情勢になってきている。

#### 4. 金融商品の選択

金融商品の選択にあたってのポイントは、さまざまな情報を集め、商品の性格をよく知ったうえで、自分の判断で選択するということに尽きる。具体的には、——①自分自身や家計の目的や計画と合致しているか、②商品の内容・性質（価格・コスト、メリット・デメリット、リスク・リターン）を十分に検討・研究する、③金利や株式・為替市況などの動き、景気、金融情勢を考える、④「購入場所」（銀行、証券・保険会社等）の経営状況を検討する——ことなどである。

こうした判断を的確に行なうことはなかなか難しいが、次の三つの判断基準に従い、選択眼を養うことが肝心である。

①安全性——投資したお金が目減りしたり、期待した収益が得られない（予想外の損をする）可能性はないか。

②流動性——どのくらい自由に現金に換えられるか。

③収益性——どのくらいの運用利益が見込めるか。

ただ、これら三つの基準の全てが優れている商品はなく（安全性<流動性>が高ければ、収益性は低い。収益性が高ければ、安全性<流動性>は低い）、要は、情勢をよく見極めて自分自身のニーズに適合した選択を、自己責任で行なうしかない。にわかに関係責任といわれても困惑する向きもあるが、金融機関の説明を納得するまで求めること（「金融商品の販売等に関する法律」で、金融機関には説明義務が課されている）や商品の過去の実績をよくトレースすること、などが手掛かりになると思われる。

（記録 佐々木 研吾）

## 楽しいガーデニング

話をする人：西久保 哲夫  
司会者：宮崎 浩平

話しをする人：ガーデニング歴 25 年の大ベテラン。若い頃喫茶店のマスターなどしていたが、その後観葉植物に興味を持ち、園芸専門家としての道を進むに至った。現在は東京花卉流通センターに勤務の傍ら大型店の園芸企画、イベント等多方面で腕をふるっている。アメリカの園芸事情の視察などに行く等、園芸のグローバル化も視野に入れた活動をしている。

### 【概要】

現在、市民生活の中にしっかり根を下したのがガーデニングであり、見方によればガーデニングの全盛期とも云える。初期の頃は家庭の主婦層がそれを担っていたが、現在では熟年から若年へ女性から男性に至るまでガーデニングの趣味は広がっている。今では単なるガーデニング熱に留まらず、草花を愛し、植物を愛でる生活が人間生活の重要な要素となってきている。一方、草花の種類や、色や形、更に大きさ、四季への広がりなど従来とは比較出来ない程多彩になった。更にガーデニングそのものが草花の栽培だけでなく、庭作りの方法、庭作りに必要な施設・備品の選択など多方面に及んでいる。従って、花を植え、花を観賞するという従来からの趣味の視野は拡大してきたといえる。

今回の学習サロンでは「楽しいガーデニング」のテーマの下に初心者が楽しめるガーデニングの基礎知識として人気の園芸植物、見る、飾るだけではない草花の楽しみ方、植物育成のヒント、年間の作業、園芸グッズの紹介等の豊富な内容を専門家の立場から親切なアドバイスを頂いた。

話は理論よりも、実演を中心とした進め方であった為、原稿化して表現出来ない内容が大部分であったが、聞き手の熱心さに加え、質問の多さと活発さは、今回のサロンの中で随一であったと思われる。

### 話の内容

#### 1. ガーデニングとは

ガーデニングとは庭いじりの意であり、庭を中心としたくつろぎの場所を作ることにあるとした。現在ガーデニングの言葉はインターネットで検索すると百万件を数え、一つのブームとなっている。

#### 2. 植物の基礎知識

##### ・植物の種類

植物には木と草がある。木には落葉樹と常緑樹がある。草花には一年草、二年草、多年草がある。多年草には宿根草があり花の寿命は短い。一年草の花は寿命が長く寒さに弱い。一年草には春まきと秋まきがある。多年草は毎年花が咲くが花の時期は短い。更に耐寒性、非耐寒性のものがある。球根には春植え、秋植え、夏植えのものがある。

##### ・土について

赤玉＝大、中、小玉の土がある

鹿沼土＝水はけはよいが養分はない

黒土＝畑の土で水はけは悪く、鉢植えの土としては駄目である

腐養土＝500円以上のものが良い

ピート・モス＝日本ではそれほどとれない。酸性度が強く乾燥するとカラカラになる。

パーライト＝石を焼いて作る。挿し木用に適する。

水ごけ＝らん、山野草に適する。

その他

石灰

ブランド土

##### ・肥料について

窒素＝葉肥え（牛ふん、鶏ふん）

リン酸＝実肥え（油かす）

カリ＝根肥え（草木灰）

上記三つはやりすぎないこと。

化学肥料＝即効性あり

有機肥料＝ゆっくり効く。元肥え

・病害虫について

虫＝手で取るのが確実

病気＝発生したら治らない。予防が大事。

年4回は消毒が必要。冬（2月頃） 4月（新芽の時期） 6～7月（虫対策） 9月（毛虫対策）

・植物の増やし方

種子をまく（間引きが必要）。挿し木（芽）。取木。株分け。メリクロン（クローン栽培）

3. 実習

- ・寄せ植え・ハンギング・多肉植物・こけ玉

以上質問を交え、大変有意義で参考になる内容であった。

話を聞き感想としてまとめるならば

・花を愛でることは、植物を愛でることに帰着する。

・植物を育成するための基本的な知識を知っていれば、購入した草花も長持ちするし、楽しみも倍加するものである。

などといえるであろう。

（記録 堀口 進）

## 井戸端会議(野球談義)

話をする人：宮崎 浩平  
司会者：岩岡 茂之

話をする人：1936年八王子大横町に生れ、八王子に育つ。代々、八王子生れで八王子に詳しい。  
日立クレジット(株)(現日立キャピタル)退職後、郷土史を学ぶ。現在、八王子古文書を  
探る会、古文書を読む会会員。古文書所在調査員。熱烈な阪神ファン。

参加者は紅一点を加え13名、今年はプロ野球発足70周年の年に当たり、話題として取り上げたが楽しく語り合いたい旨発言があり、予め配られた資料にしたがって2リーグ制誕生から始まり、八王子が生んだ野球人、さらにアンケートから見たファン気質等と話が進んだ。話し手からは野球に親しんだなれそめ、昭和9年から始まるプロ野球チーム発展の歴史、グラウンド整備に使われるトンボの由来、占領下の神宮球場が当時はステートサイドパークと言われた事、また懐かしい野球選手の名前を耳にし、しばし昔を懐かしんだ。

## 話の内容

## 1. 2リーグ制の誕生(1リーグ制の分裂)

昭和24年まで1リーグ制であった日本プロ野球が、昭和25年以後2リーグ制となる設立構想が東京の読売新聞、関西の毎日新聞の間で話し合われたこと、又その頃来日したサンフランシスコ・シーガルズ、オドール監督のアドバイスがあったこと、またその伏線として初めて聞く多くの裏話に一同興味深く引き込まれた。その結果、解体、分裂は別として現在のセ・パ2リーグ制が定着した。

## 2. 八王子が生んだ野球人

八王子から出たプロ野球選手の第一号は戦前、名古屋金鯱軍で活躍した古谷倉之助、川上良作が居る。特に古谷倉之助は金鯱軍で投打に活躍している。両氏は戦後プロ野球を離れ、ノンプロ野球で多摩地区の都市対抗に永年出場し、オール八王子や八王子実業で全府中の山田伝(元阪急ブレーブスのヘソ伝)と対戦している。戦後の選手としては、昭和26年都立二商から毎日オリオンズに入団した松村恒夫が居たが、体を壊し一軍に出ずに退団して居る。その後は八王子四中から静岡商業へ行き、阪神タイガースに入団した浅井茂治が居る。入団当初は名手三宅秀史の後釜であったが、三宅の負傷後レギュラーの地位を獲得し活躍した。最近では西武ライオンズの高木大成が活躍しているが、桐蔭高校から慶応大学を出て現在は西武ライオンズの主力選手である。又八王子近辺では今年阪神に入団した大物ルーキーの鳥谷が羽村市の出身、選手ではないが永年セントラルリーグの名審判、(後の審判部長)富沢宏哉が居る。

## 3. アンケート結果(プロバス編)

## ①巨人が好き 31/72

東京出身:23 その他:18

理由は様々で有るが、なるほど理由の1位 盟主として伝統あるチームだから

## ②巨人以外が好き(巨人は嫌い) 34/72

東京出身:16 その他:18

理由の1位 契約金を高め、優秀な選手を取り過ぎる

## ③あなたのファン心理は

理由の1位 覇気のチームが勝っても、負けてもあまり変わらない

巨人ファン:21 巨人以外:24

## ④あなたは日本の野球の将来についてどう考えるか

理由の1位 契約金や年俸が高くなり経営が困難になる

さて、皆さんの考えは如何か?

ご紹介する予想順位はシーズンオフを楽しみに。

予想順位

セリーグ 巨人・阪神・横浜・中日・ヤクルト・広島

パリーグ ダイエー・ロッテ・西武・オリックス・日ハム・近鉄

意見交換に入った途端に議論百出、大部分が巨人軍。良きにつけ、悪きにつけ話題になるのはやよりの感、果ては今年の順位予想にまで発展、巧みな司会で皆懐かしさと和やかな笑いのうちに終了した。

(記録 松尾 信一郎)



## 懐かしの映画とその音楽 VI

話をする人：立川 富美代  
司会者：大高 秀夫

話をする人：服飾デザイン・縫製企画等の会社経営。 青少年育成・社会教育団体指導など幅広く活動。  
最近では国際文化交流事業の推進にも努力。 現在、ガールスカウト八王子連合会会長、  
八王子フィルハーモニー合唱団団長、八王子フィルハーモニー管弦楽団顧問。

## 話の内容

グレン・ミラーサウンドの魅力はなんと言ってもあの甘いトロンボーンの色音である。今日は第二次世界大戦後、日本に入ってきた色々なアメリカ音楽の一翼を担ったグレン・ミラーを楽しんで頂きたい。1930年代前半に、彼はジョージ・ガーシュインも学んだジョセフ・シリンジャーのもとで作曲を学び、各名門楽団で演奏活動をしたが、自分の音を追及するために自分の楽団を結成する。1942年7月、人気絶頂の時に彼の楽団を解散、9月に軍隊に入隊、陸軍航空隊に楽団を組織、グレン・ミラー空軍バンドとなる。(AAAB アメリカン・エアホース・アーミー・バンド)  
以後、前線にバンドをひきいて慰問、1944年12月、ドーバー海峡で行方不明となる。  
代表曲4曲を、映画を見る前に聴いて頂きたい。

【音楽鑑賞】 3代目指揮者バディ・デフレンコ（来日5回） 1970年のロンドンでのライブ盤から

## ①ムーンライト・セレナーデ

1930年代前半作曲されたもので、アメリカン・ロマンチズムの代表傑作である曲。1938年に正式にミラーバンドのテーマ曲となる。

トレードマークのクラリネットによるリードがとても美しい。

## ②I'm Thrilled-茶色の小瓶

アイムスリッドは1941年のヒット、1950年代の新生グレン・ミラー楽団でも大変人気を得た曲。

茶色の小瓶は1939年の初期のグレンの会心作。映画の中では準テーマ曲の扱いがされている。

## ③真珠の首飾り

1941年グレンのオリジナルヒット曲。絶妙なスイング感が味わえる傑作。

映画の中にでてくるシーンをお楽しみください。

## ④イン・ザ・ムード

言わずと知れたグレンの特大大ヒットオリジナルは1942年、テナーサクソとトランペットにソロの部分がある。

## 【映画鑑賞】

## ①グレン・ミラー物語 アメリカ映画

監督：アンソニーマン 音楽：グレン・ミラー 編曲：ヘンリーマンシーニ

主演：ジェームス・スチュアート、ジューン・アソスン

特別出演：ルイ・アームストロング、ジーン・クルーバ

若きトロンボーン奏者、グレン・ミラーは常に新しいサウンドを目指していた。名門楽団に参加したものの、編曲に専念する為に退団。彼の音楽に転機をもたらしたのは最愛の妻ヘレンだった。

彼女の助言で自分の楽団を結成し、やがて空前の人気と名声を得る。しかし第2次世界大戦がはじまると空軍に志願入隊、1944年暮れ、グレンをのせた飛行機は英仏海峡で消息を絶った。

夫婦の愛と数々のヒットナンバーが彩る感動の音楽映画。

## ②アニーよ銃をとれ (アカデミー賞・ミュージカル音楽賞受賞作品)

監督：ジョージ・シドニー 音楽：アドルフ・ドイッチ/ロジャー・イーデンス

主演：ベティ・ハットン、ハワード・キール 1950作品

It's Wonderful ハワード・キール、ベティ・ハットン(歌)

ショウほど素敵な商売はない ハワード・キール、ベティ・ハットン(歌)

(記録 立川 富美代)

## 医学散歩アラカルトー患者接遇改善の遍歴

話をする人：長町 幸雄  
司会者：矢崎 安弘

話をする人：群馬大学医学部名誉教授、医学博士、元群馬大学医学部附属病院長、東京医大がん研究事業団理事、日本消化器病学会理事

レジメ・資料、そしてビデオを用い色々な角度から、医学に歩み、そして退官までの生き方・思想を臨床医の立場から以下の通り述べられた。

### 話の内容

患者さんの味方になれる臨床医を目指して、歩んできた半生を振り返る。手元に残った資料を参考にしながら、青年医師時代から今日まで貫いてきた「医師－患者関係」の理想を目指した行動の跡を検証し、ノンフィクションで言笑してみたい。

#### 1. 医師の使命とは何か？－その原点を考え直す

- ①いつの時代でも、医師の存在意義は「病を持った人間」のためにある。
- ②医学部に入った時に母から言われたこと(資料1)。
- ③医師になってから感じたこと。
- ④なぜ、日本の医師は患者さんの信頼を失っているのか？

#### 2. 日本における医学教育システムの矛盾

- ①特権意識の涵養。医師の常識の市民からの乖離。
- ②病気の診断治療に片寄った専門知識教育。
- ③医師免許は終身免許で再チェックがない。
- ④医局制度の弊害と人間学の忘却。
- ⑤大学における研究業績至上主義観念の過ち。
- ⑥大学では優れた指導医と施設を用いた十分な幅広い総合臨床研修ができない。

#### 3. 医師になってから、心掛けなければならない基本は？

- ①すべての医師に患者本位の医療を実践してもらうには？
- ②大学医学部の卒前・卒後教育システムで「できること」と「できないこと」の選別の重要性。

#### 4. 教授時代に実行したことー患者接遇改善教育の徹底

- ①教育・研究・診療の三本柱の実践と指導。  
手術・病棟回診・外科診療も教室員に丸投げをしないのが日常の基本
- ②患者接遇改善との取り組み(資料2.3、ビデオで供覧)。  
読売新聞群馬版に「温かい医療を求め続けて ビデオで医師の教育 群大医・長町教授が制作」
- ③大学外での公開講演ー患者さん中心の医療を目指したキャンペーン(資料4)。  
長岡市で「病院の改革と接遇」
- ④新聞報道などにみる日常行動の実績(資料5、6、7)。  
・舞踏会で社交術伝授 ドレスとタキシード姿 海外での活躍に備え 門下の医局員と家族達  
・医学教育 「命の綱」の信頼担って 臨床実習で心構え指導  
・医学概論 生命倫理と医療行為

#### 5. 病院長時代の患者接遇改善の試みーその行動と実績

- ①患者中心の医療の励行と病院経営の改善(地域・市民のための医療を目指して)。
- ②病院長だよりの記事より(資料8)。  
病院だよりの発行 病院旗やクリスマスイルミネーション、鯉のぼり、七夕飾りなどの記事
- ③病院長訓示《18か条》(資料9)。  
罪なき処世の指針ー病院運営に当たってー

#### 6. 教授定年退官から今日までの患者接遇改善運動

- ①退官に当たってのメモ。 .
- ②退官最終講義録の中から(資料10)。  
生涯「外科学徒」の心のガイドライン12箇条 起つ鳥跡を濁さず、ただ消え去るのみ

③地域ボランティア活動ほか。

## 7. その他

付、教授就任時の日本医事新報の記事ほか。

資料1 「故郷をでる時母から言われたこと」  
幸雄さん

- ・決して大学医者にならないで
- ・役人になって帰らないで
- ・いつも患者のそばに居て
- ・どこにでも女性は沢山います
- ・教授は怖いが偉い人です

以上、メリハリのあるお話で、現代医療制度の問題点を明らかにし、医師のあり方を真摯に受け止め、解説されていた。医師と患者が対等な立場で病気を治すという姿勢はとても大事なことだと思う。

(記録 武田 洋一郎)

## マメの話（世界のマメ、日本のマメ、健康食品としてのマメ）

話をする人：橋本 鋼二  
司会者：徳永 保徳

話をする人：昭和32年農林省農業試験場入省。大豆その他の豆類の研究・試験研究管理者として従事。勤務地は北海道、秋田、新潟、茨城、オーストラリア、タイ。昭和50年大豆の研究で農学博士。平成6年農林省を定年退職。平成9年から3年半、国際協力事業団（JICA）の技術協力プロジェクトリーダーとして、南米パラグアイで大豆の生産技術を高める研究の指導に従事。

### 話の内容

#### 1. 世界のマメ生産

約2億5千万トンのマメ生産量のうち大豆が約7割の1億8千万トン（2001）を占め1位。成分はタンパク（約4割）と脂肪（約2割）が多い。ラッカセイは生産量2位、成分は脂肪（約5割）とタンパク（約25%）、インゲン類（金時、手亡、小豆など）は生産量3位、成分は炭水化物（約6割）とタンパク（約2割）が多い。生産量4位のエンドウも同様の成分組成である。

#### 2. 主要なマメ類の生まれ育ったところ

大きく分けると、①東アジア系：ダイズ（大豆）－東アジア、アズキ（小豆）－日本・中国、リョクトウ（緑豆）－東南アジア ②インド・西南アジア系：エンドウ（豌豆）－西南アジア・地中海地域、ヒヨコマメ－西南アジア・インド、キマメ－インド、ササゲ（大角豆）－西アフリカ・インド、ソラマメ（蚕豆）－アジア・地中海地域、③中・南米系：インゲンマメ（隠元豆）－中・南米、ラッカセイ（落花生）－南米・アフリカ に3大別できるが、その後、大豆、インゲンマメ、ラッカセイなどは生まれ育ったところを大きく越えて普及している。

#### 3. 日本におけるマメの歴史

古事記では、五穀として、大豆とアズキがでてくる。どちらも弥生時代の遺跡からも発見されている日本古来のマメである。エンドウやソラマメは遣唐使の時代、ラッカセイは19世紀初めから栽培された。

#### 4. 大豆を多く消費する国の例示（kg／人／年）

食品用として1人当たり1年に消費する量は東アジアが多いが、大豆産地ブラジルでは消費拡大に努めている。国別で例示すると、インドネシア、中国 8.6、韓国 8.1、日本 7.9、ブラジル 2.7、一方、油用としては欧米諸国をはじめ世界各地で消費が伸びている。アメリカ 22.3、ブラジル 10.7、韓国 7.5、日本 5.2、ドイツ 4.2。

#### 5. その他のマメを多く消費する国や地域

中南米、アフリカ、インドとその周辺国などで多い。中・南米ではインゲンマメが大部分、アフリカやインドではササゲやキマメなどいろいろなマメが消費される。地域別（kg／人／年）で示すと中米 12.0、南米 9.1、アフリカ 9.0、アジア 5.0、ヨーロッパ 2.8、国別で例示すると、ルワンダ 33.4、ブラジル 16.6、ミャンマー 15.3、インド 10.5、 などが多い。大豆の消費の多い東アジアでの消費量は少なく、日本 2.0、韓国 1.8、中国 1.5。

#### 6. 大豆食品の利用法

利用法から3大別できる。①タンパク質を食べやすく抽出した食品：豆腐 豆腐関連食品、豆乳など伝統食品、蒲鉾、ハム、人工肉などの近代工業製品。②発酵食品：味噌、納豆、醤油など。③その他の食品：煮豆、枝豆（未完熟大豆）、きなこ、菓子など。

#### 7. 大豆食品の優秀性

大豆の主要成分であるタンパク質は優れたアミノ酸組成で畑の肉ともいわれ、もう一つの主要成分である脂肪分は優れた脂肪酸組成から善玉コレステロールを増加するなど生活習慣病等の予防に効果があるといわれる。

そのほか注目される成分として、レシチン（コレステロールの除去）、サポニン（老化防止、抗ガン作用）、イソフラボン（骨粗鬆症予防、更年期障害抑制）、食物繊維（整腸作用、コレステロール低下）、オリゴ糖（腸内有用細菌の増殖）、カルシウム（骨粗鬆症予防）、ナットウキナーゼ（納豆菌の作用により血栓症予防）

#### 8. マメの食べ方は食文化

東アジア、日本：大豆で多様な食べ方。高度な加工技術を駆使するところが特徴。

インド：ダル（マメの皮をむいて二つに割ったもの） マメを煮て濃いスープ状にする。

中南米：煮えやすいインゲンマメが中心で、濃いスープ、あるいはいろいろなものと一緒に煮る。

ヨーロッパ・アメリカ：エンドウ、インゲンマメを煮てスープやいろいろな料理に使う。

#### 9. 日本でのアズキその他のマメの利用、食品としての優占

アズキとインゲンの利用は煮豆、餡、和菓子などが主であるが、加えて行事食としてアズキ（一部ではササゲ利用）が赤飯、おはぎなどに使われる。

アズキは植物繊維（整腸作用）が豊富で、ポリフェノール（活性酸素を抑える抗酸化作用）も注目される。

（記録 橋本 鋼二）

## ウィーン物語～映画と音楽による～

話をする人：平原 俊彦  
司会者：古川 純香

話をする人：八王子生れで八王子育ち。日本コロムビア(株)理事、洋楽部長、国際本部長、理事等歴任。

はじめに映像と一緒にエーリッヒ・クンツの「ウィーン、我が夢の町」を聞きながらウィーンは音楽、政治等話題には事欠かない魅力に満ちた町であるとの紹介で始まった。

### 話の内容

ウィーンはよそ者の町とも言われ、ウィーンから輩出された多くの著名音楽家達はモーツァルト(オーストリア)、ベートーヴェン(ドイツ)、シューベルト、(オーストリア)、ブラームス(ドイツ)、はじめ皆他所の出身者であり、その歴史的背景は音楽家とパトロン(貴族)の関係に見られるように、有望な若い音楽家達を貴族がパトロンとして援助を惜しまなかったところから音楽は貴族の音楽として発展したと思われる。

その音楽が現在のように庶民のものとなった過程を映像とオーストリアと言う国の変遷と共に紹介したい。

まず、オーストリアの女帝マリア・テレジアの時代(1740～80)では映画「アマデウス」に使われた「魔笛」、次いでナポレオン 100 日天下の直前「会議は踊るされど進まず」と言われ、有名になったウィーン会議(1814～15)を歌った「会議は踊る」は映画の挿入歌として有名になり、まさに一世を風靡した。その他オペレッタの「ウィーン気質」、シューベルトの「未完成交響曲」等を映像で紹介。特に交響曲にまつわる「我が恋の終わらざるごとくこの曲も終わらざるなり」は懐かしく、そこはかたなく昔を振り返るには十分な映像である。

19 世紀半ばから音楽が市民社会へと浸透した。

「グレートワルツ」の中の「ウィーンの森の物語」、また、映画「たそがれの維納」で歌われたカルーソーの「女心の歌」、「輪舞」等を聴く。

ついで第 1 次大戦(1914～18)の時代では映画「間諜 X27 号」でヒロインが処刑される直前にピアノで奏でる「ダニューブ河の漣」、「うたかたの恋」、さらに第 2 次大戦後(1945～)ではキャロル・リードの代表作(原作、グレアム・グリーン)として世界中に広まった、「第三の男」のテーマ曲を聴く。

終わり良ければ全てよし、と言われるほど映画のラストシーンは脳裏に焼き付けられて残るもの。それに加え劇中の音楽もまた我々の心に多くの思い出を呼び覚ましてくれる感が強い。

何れにしても参加者それぞれの心の中に心地よい思い出を与えてくれた時間であった。

(記録 松尾 信一郎)

## クーデンホーフ光子の生涯

話をする人：堀口 進  
司会者：廣瀬 智子

話しをする人：八王子出身。元中学校校長、メルボルン・スインバン大学非常勤講師。趣味はプレイングカード（トランプ）の収集と研究。「堀口プレイング・カード美術館」を設立。館長、約4千のトランプを展示。

クーデンホーフ・光子については、30年位前から資料（史）料収集に努め、2003年（平成15年）11月「黎明期の国際ロマンス＝クーデンホーフ・光子の生涯」（宝塚出版）を刊行し、日本図書館協会の選定図書として選ばれた。

### 話の内容

- ・写真、地図等の資料による説明
- ・光子とハインリッヒ・クーデンホーフ伯爵との結婚のいきさつ
- ・ハインリッヒとの死別による光子の自立

#### 1. 資料による説明

- ・渡欧直後の光子の写真  
その美しさとスタイルの良さがハプスブルグ貴族社会で評判となり、光子特集の雑誌が発行されたり、ウィーンの新聞等で取り上げられた。
- ・光子の日本時代の和服姿の写真及び両親の写真
- ・日本での光子とハインリッヒの結婚写真  
明治の時代とは思えない光子の花嫁姿。光子の若さが光る。
- ・ハインリッヒ伯爵が若くして亡くなる前後の光子と7人の子供達の写真。末子のカールは、僅か3歳であった。
- ・オーストリア・ハンガリー多民族帝国の範囲  
光子の城のあるロンスペルクは現在のチェコ領にあった。
- ・青山家の系図  
光子は姉妹の中で育つ。姉妹は早逝している。
- ・クーデンホーフ家の系図  
光子とハインリッヒには7人の子供がいて、子供達は皆優秀であった。
- ・光子の生涯年表  
年表を見ると光子の凡その生涯がたどれる。
- ・光子に関する書籍、史料解説。
- ・光子にかかわる建造物等の写真  
ロンスペルク城の現状写真…破壊の跡が痛々しい。  
ハインリッヒの死後、光子と子供達が住んだマキシング・シュトラッセの家。光子の晩年に住んだウィーンのメードリンクの山荘。光子とハインリッヒの墓所。

#### 2. 光子とハインリッヒの結婚のいきさつ

光子は明治の黎明期ともいえる明治7年（1874年）7月東京市牛込納戸町で、骨董屋と油屋を営む青山喜八と妻ツネの三女として生まれた。

明治25年（1892年）オーストリア・ハンガリー帝国の代理公使として来日したハインリッヒ・クーデンホーフ・カレルギー伯爵と結婚した。二人の結婚について、東京都公文書館に残る東京府知事三浦安の結婚許可証には、明治25年3月16日になっている。

しかし、ハインリッヒの日本赴任が同年2月29日であることから、この日付は早すぎる。

ドイツの貴族名鑑には1892年（明治25年）12月16日入籍となっていて、それでは実際には遅すぎる。

話し手（堀口）はその他の結婚にまつわる史料として「アーネスト・サトウ公使日記」や「明治29年（1896）1月の報知新聞」の記事を発見したが、それらの記事も実際より遅い。いずれにしても、二人は1892年（明治25年）5月～6月にかけて蝦夷旅行に出掛けていて、この頃は、二人は事実上

結婚した状態にあったと思われる。

次に、光子とハインリッヒの結婚に大反対していた父親喜八が結婚を許可したことについて、いろいろな噂話や巷説が伝えられて来ている。二人の結婚は、父親がハインリッヒから自分達の生涯の生活に困らない大金を貰ったので許可したこととか、光子は父権の強い時代に父親喜八の命令でハインリッヒに嫁がされたものであるとかの話である。これらの巷説が後々まで尾を引き、光子に対する誤解や中傷ともなった。しかし話し手（堀口）は、それらの誤解や曲解について、多方面からの史料で反証をした。

### 3. 光子のヨーロッパでの生活＝光子の夫ハインリッヒの死からの自立について

皇后陛下(明治天皇の皇后)の日本での最後の謁見を許されて間もなく、光子は夫、二人の子供達と共に、明治29年(1896)1月28日東京の街を発ち、ヨーロッパへ旅発った。2ヶ月もかけての渡欧の途中、各国・各地の見学に加え、ローマ法王などにも謁見している。

ロンスペルク到着後、ハプスブルグ皇帝への謁見や、メッテルニヒ宰相夫人などの貴族、領主等のパーティ招待、クーデンホーフ家の親戚周りなどの後、光子のヨーロッパでの生活が開始された。しかし、ヨーロッパでの生活10年目に、突然、ハインリッヒが死去したのである。その時の光子の驚愕と悲しみを押し量れることは出来ない。ともかく光子は32歳の若さ、そして下は3歳から上は13歳までの教育を必要とする子供達7人が残された。

当時、光子の周囲には、日本語を話す人もいない上に、相談をする人もいない状況であった。更に領地経営、財産管理を一手に取り仕切ってきた夫ハインリッヒが居なくなり、その後は光子が全て引き継がなくてはならなくなったのである。

しかし、光子はそのことについて何も知らなかったのである。だが、光子はそのような破局状態から見事に立ち上がったのである。

光子の自立についての話の内容は省略するがその光子のやり方についてまで中傷を加えたり、批判するような誤った取り上げ方をする書物、映像もあった。しかし、光子の絶望的な状況の中からの自立の姿は見事と云わざるを得ない。結果的には、子供達を立派に教育し(7人中5人の博士)、次男のリヒャルトは、第一次大戦後、汎ヨーロッパの思想を提唱し、やがてそれがEC、E・E・Cを経て、EU(ヨーロッパ共同体)として実現をみるに至ったのである。

簡潔にまとめれば、光子は国際化を誰よりも早く体験し異民族、異文化の理解に努力、実践した女性である。光子自身は、ハプスブルグの多民族国家の解体、第一次、第二次世界大戦の悲惨さの歴史に翻弄された生涯を送ったのである。光子の功績については「汎ヨーロッパの母」という称号も相応しいと言ってよい

(記録 堀口 進)



## 日野原先生の「生き方上手」に学ぶ

話をする人:近藤 泰雲  
司会者:矢崎 安弘

話しをする人:長野県飯田市の出身。東京都立高等学校事務長、全国公立高等学校事務長会の調査、研究、総務の各部長を歴任、退職後仏門に入り修行。現在郷里の寺と八王子での半々の生活。

92才になられ今日益々活躍されている日野原先生の生き方に皆さんと一緒に学びたいとの前置きで日野原先生を紹介された。

日野原重明先生:明治44年(1911)生まれ、昭和12年京都帝国大学医学部卒業、昭和16年聖路加国際病院に内科医として勤務、現在同病院理事長、同病院名誉院長、全日本音楽療法連盟理事長、昭和63年東京都名誉都民、平成11年文化功労賞を受賞。早くから予防医学の重要性を指摘、ターミナルケア(終末期医療)の普及、患者参加の医療を提唱「生活習慣病」の名付け親であり啓蒙家、75才以上の人達の「新老人の会」を提唱し実践。

偶然にも、本日出席の中に先週日野原先生にお会いし診療を受けていた人、ボランティアの会へのお誘いで対面された人からも日野原先生の人となりで紹介された。

## 話の内容

## 1. よい出会いがある、それはあなたの才能

生きかたのモデルを探し、モデルに学べ。

釈尊の言「生老病死」からの解脱、「どうよく生き、どうよく老い、どうよく病み、どうよく死んだか」モデルとは暗夜を照らす一筋の光り、人生を歩き易くする。70、80代にはこうありたい、出来るだけ具体的なモデルを見つけることが肝要である。

生き方のモデルとして、話し手(近藤)の郷里とも関係の深い、99歳まで元気に活躍された前島忠夫先生(東大医学部卒、85歳まで開業医として勤め、往診が出来ないという理由で医院を廃業、その後市立病院の名誉院長、福祉施設の嘱託医を兼務しながら趣味の書を楽しまれた)を例として話をする。

前島先生は夫婦仲がよろしく自然体で友人の如く尊敬しあい、世の中を愛し、長寿の秘訣について私達は歳をとるにつれて仲間、友人は減っていく、だから若い人と上手に付き合う事、我を通さず素直に人の話を聞く事とのこと、温かい言葉で接すれば患者の心を癒す、人間関係は適度な距離を保つことも肝要「君は君、吾は吾されど仲良く」(武者小路実篤)と説いた。

コーヒーブレイクを挟んで用意された歌「美しき天然」、「青い山脈」、「誰か故郷を想わざる」を全員で合唱。

## 2. 死は終わりではない

「ありがとう」の言葉で人生をしめくりたい。

無理な延命装置さえしなければ、老いてからの死は苦しまない。「一足先に行くよ」、「9歳の長男に16歳になるまでの誕生カードと高校入学祝のカードを、それと7歳の次男には14歳になるまでの誕生カードと中学入学祝のカードとを残す」、悔いのない最期「ありがとう」の言葉を残したい。

「死」を考えてこそ生が輝くのではと思う。葉隠論語に「武士道とは死ぬことと見つけたり」との言葉がある、人間は死ぬからこそ「今」を大切にするのである。江戸時代に3代将軍家光が大変帰依した正受老人は寺を建ててやるから江戸に残ってくれとの願いを断わり、信州の飯山に正受庵と云う小さな庵に歳老いた母と二人住み、考養を尽くした。この正受老人は常に「一日暮らし」と云う言葉をお説きになり、悲しい事も一日だけ、嬉しいことも一日だけ、そうすれば悲しい事も我慢出来るし嬉しい事も慢心することなく過ごすことが出来る。話し手が毎回講話の終わりに配っている葉に「今日もよき日でありますように」と、書いているのは、人生のありがたさ、一日一日を大切にすることと正受老人にあやかって欲しいとの願いでもある。

亡くなる3~7日の間に、もしかしたら快方に向かうのではと思われる時が人によってはある。それはお別れの出来る最後の機会かと考えられる。そこで担当医から死期をすでに宣告されているに

も拘わらず、「頑張ってるね」とか「そんな弱気でどうするの」などと言わず、「お父さん、お世話になったね」、「私も仕事一筋で家庭を顧みず、迷惑ばかり掛けてごめんね、お世話になったね」と云う言葉で互いに感謝の気持ちを伝える事が出来たらなによりの遺族に対する贈り物になると思う。ご本人も心安らかに旅立てる事でしょう。

聖路加病院で実際にあった話で6歳の男の子が何万人に一人という重病に侵され往診を続けた臨終の折に、看護師さんに最後の力を振り絞って「ありがとう」と言って亡くなった。両親もこの言葉によって幾許か癒されたか、「お世話になってありがとうね」と皆に感謝の言葉を残したい。

話し手の大好きな詩「身ぎれいに余(与)生過ごさん福寿草」を詠んで講義を締め括った。そして、最後に「忘れな草をあなたに」、「悲しき子守歌」、「異国の丘」の歌を合唱して別れた。

(記録 浜野 幸雄)

## 野外サロン 「小江戸川越めぐり」

日 時：5月13日(木)8:00~17:00

出席者：サロン会員：43名

プロバス会員：44名

本年度の野外サロンは、かつては「小江戸」と呼ばれ、今なお歴史と時代の町並みを色濃く残す川越を見学することとし、バス2台（1号車サロン会員、2号車プロバス会員）に分乗、定刻通り8時に八王子駅南口を出発、圏央道、関越道を経て喜多院→中院→川越城本丸御殿→川越市立博物館→時の鐘→蔵造り資料館→菓子屋横丁自由散策というコースで研修を行った。

途中の車内においては、研修の予備知識として1号車では橋本義和会員より川越の歴史と見どころについて、2号車では野口正久会員より、川越地方を巡る武士の争いや、徳川の関東支配後の江戸と川越の関係などが説明された。

各施設の見学にあたっては4班に分かれ、それぞれが川越市のシルバー人材センターの専門ガイドの説明を受けながら廻った。

## I. 施設を見学して

### ・喜多院（北院）

当院は淳和天皇の頼命により天長7年（830）に滋覚大師により阿弥陀如来を安置したのがこの寺の始まりと伝えられている。

寛永15年（1638）の大火によって山門と鐘楼を残して全て焼失したため、三代将軍家光の命により復興され、その時に江戸城内にあった将軍家光誕生の間や春日局化粧の間を移設し、客殿、書院として使用されたのが残っている。いずれも400年以上の時を越えた木造建築から当時の大名の生活や江戸城中における大奥の強大な権力の一端をうかがうことが出来た。境内にはほかにも五百羅漢や狩野昌庵吉信による職人昼絵等の文化財が数多くあり、平日にも拘わらず観光客の姿も多く賑わっていた。

### ・川越城

川越城は長禄元年（1457）扇谷上杉持朝が古河公方足利成氏に対抗するために、大田道真・道灌父子に命じて築城させたものである。その後何回か火災にあい現存するものは嘉永元年（1848）時の城主松平大和守斎典が造営した本丸御殿のみで、今でも川越藩17万石の格式を偲ばせるに十分な風格を備えた立派な玄関が残されている。

### ・川越市立博物館

平成12年にオープンしたこの博物館は、11,400㎡の敷地に延床面積4,000㎡に及ぶ純日本風建物で、特に日本瓦の広屋根と白壁が川越のイメージを現した瀟洒な建物である。常設展示は、川越地方の歴史の発展と文化の変遷を、原始、古代、中世、近世、近現代の歴史と民俗関係を展示しており、学芸員より説明を受けながら館内を一巡した。特に近・現代の展示では、川越の発展を支えた商人達が限られた店舗を効率良く利用する店構えや、蔵造りの町並みにも季節の風を意識した構造など、当時の人々の生活知識の高さに改めて感心させられた。

## II. 街を散策して

### ・蔵造りの町並み～時の鐘

今も城下町の名残りが随所に見られる川越の町並みは、重厚な蔵造りの商家が続き、その建物の中に建つ「時の鐘」と共に、この地を訪れる人々に一瞬時代がタイムスリップしたような錯覚さえ覚えさせるような見事な佇まいであった。そこには単なる耐火建築物としてではなく、川越商人の心意気や経済力、職人の腕前などが一つに結集された建築美が感じられ、折り良く聞こえてきた3時の鐘の音を聞きながら白壁越しに眺めた「時の鐘」の櫓が妙に印象的であった。

### ・菓子屋横丁

今回の野外サロン最後の見学地である菓子屋横丁は、江戸中期頃、大蓮寺の門前に2・3軒の菓子屋があったのが始まりといわれている。全盛期には70軒あった店も現在では15軒の店が手作りの生菓子やアメ菓子などを売っている。訪れた日は、手に手にアメや菓子を持った高校生の集団や観光客で狭い横丁は大混雑であったが、店先からは醤油を焦がすこうばしい香りが漂い、昔なつかしい色とりどりのアメや菓子が並び、永い間忘れていた子供の頃を思い出しながらの自由散策であった。

以上で予定された研修は全て終了し、定刻の4時には迎えのバスに乗車、帰路についた。

途中2号車内では、「川越を訪ねて」とか「川越と八王子」という内容で全員が意見発表を行った。その

中では、八王子の街づくりや商店街の活性化に向けた問題点や取り組み方を問う意見が圧倒的に多く、他にも八王子の歴史、文化財などを一般に知らしめる努力が不十分とする意見や高齢者のボランティア活動のあり方など、様々な意見の発表が続き気が付けばいつの間にかバスは八王子駅南口に到着、解散した。

(記録 矢島 一雄)